

将来の子供たちが共存共生のできる豊かで平和な世界へ

ミャンマーシャン州タウンジーの職業訓練所の全景



左側はJAMAHA支援による寄宿舎棟 右側は従来の研修棟

令和4年度事業活動 重点指針

1. 命を救う医療、救援支援金の提供

先期になってすぐの4月2日から救援資金の募金を始めました。理事さんが各個人の友人にメールを送ってアピールするという手作り運動です。6月末で合計300万円近くの募金が集まり、ミャンマーの個人や組織に5つのルートを使って3回に分けて送りました。現地では海外からの送金がチェックされているかもしれないため、最初は用心深く実施していたためです。今期も企業の廃業、撤退のため、就業が困難な方や、住居の破壊、物価の高騰によって生活がなりたたない多くの方々が出ていますが、命を救う医療、特別救援資金の提供なども随時行ってゆきたいと考えてはおりますが、救援先は今までもお付き合いのあった僧院の孤児院が中心になってゆくものと思います。

またミャンマーの地方の田舎で孤軍奮闘しておいでになる名知医師にやさやかな寄金を定期的に寄せさせていただくことを計画しています。この基金は別途募金をお願いするつもりですし、11月か3月にスタディーツアーが催行できるのであれば現地へ訪問させていただきたいと考えております。先日医薬品業界の組合の連合体の主宰で吉岡医師の講演会が開催されました。その際2024年までにヤンゴンにこども病院を開設したいとおっしゃっておみえでした。具体的な構想をお聞きして、お手伝いできるところや、ご一緒にやらせていただけたところは力を出してゆきたいと思っております。



2. 保育園建設支援活動

無認可保育園もプレスクールとして位置づけられ、保育園、幼稚園が40坪ほどの大型化が一般的になってきました。2021年 金光学園生徒さんによるクラウドファンディングでの保育園建設(22棟目) コロナ、軍事政権への移行で訪緬できないため、オープニングセレモニーは延期となっています。

そのため、日本とミャンマーの子供たちの友好のシンボルである「鯉のぼり」「紙芝居」その他遊具、学用品は届けられておりません。2022年には実現したいと思っています。また2022年度は昨季、候補地であったWarTaw村に保育園(23棟目)を建設予定です。この資金は高校生のクラウドファンディングで約90万円を集めていただき、2022年3月末に材料代として現地責任者に送金を終えております。極端なインフレで予算不足となりますが、追加資金は後日には送金し、日本の高校生の優しい心を現地に届けられることは両国の子供たちに取って素晴らしい輪が広がると未来が楽しみです。



3. 開園した保育園の修繕活動

開園後10年近くになって補修を要する箇所も出てきておりますので巡回見回りを今期も行い、見積もりを取りながら部分補修と開園時に贈呈したピアノや紙芝居の追加等ソフトの提供を行ってゆきます。深くお付き合いするということからも、費用は最初にご協力いただいた方々をお願いしたいと思っております。ご協力をお願いいたします。

2021年度の保育園修繕(3か所)報告

- 1)2010年開園 カンタン村保育園(外装、遊具)



会える日を楽しみにしています。
ミャンマーの子供達に笑顔が届きますように・・・

認定 NPO 法人日本ミャンマー豊友会 (JAMAHA) について
「認定 NPO 法人日本ミャンマー豊友会 (JAMAHA)※」にはトニー先生こと三谷原恒良が長年在籍しており (2020年7月に理事就任)、本部と現地の連携により学校建設を実現化させていきます。現在の候補地はミャンマー東部のシャン州を予定しており、現地で求められるニーズを伺い、各地域 (村) から数カ所の候補が上がり、その中から

正式に決まります。(現在 10 年間で 23 校開校)
※認定 NPO 法人日本ミャンマー豊友会は、『日本とミャンマーの子供たちの未来のために』を活動理念に掲げ、子ども達が共存共生のできる、豊かで平和な世界の実現を目指し設立された団体です。



この活動に賛同していただける方にはぜひ、会員になって頂けたら幸いです。

人生は出会い、出会いこそ人生。
感謝。

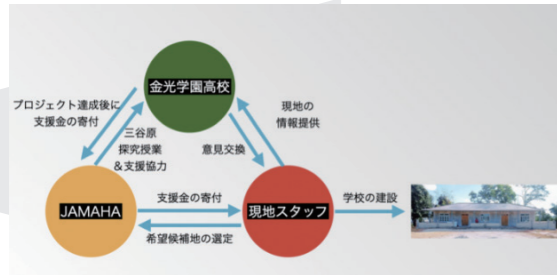
認定 NPO 法人日本ミャンマー豊友会 理事
JustSMILE 学校プロジェクトリーダー
三谷原恒良
(サンク・ラスト株式会社 代表取締役)

JustSMILE学校プロジェクト



このプロジェクトはもうすでに僕たち2年生だけでなく、金光学園中学・高等学校のみんなの期待を背負った壮大な探究活動となりました。クラウドファンディングをすること自体が目的になってしまった時期もありましたが、学校を建てるための手段だということを変更して教わりました。

もしかしたら、ミャンマーの子供達が大きくなった時、僕たち日本人が助けを求められるかもしれないし、将来この幼稚園を出た子どもたちと出逢って、一緒に働いたり同じ時代を生きる仲間になっているかもしれない。JustSMILE 学校プロジェクトを通じて、国境を越えた『仲間』と笑顔で



モノドネのご紹介

モノドネ

モノドネはモノで寄付ができる仕組みです

日本ミャンマー豊友会 (JAMAHA)は「モノドネ」に参加しています。



寄付・ご入会の振込口座

寄付

ミャンマーの子供達が将来豊かな人生を歩むためには教育が重要です。継続できるご支援が不可欠ですので、皆様のご協力を御願いたします。

- 今回のみ
- 保育園の寄付
- 1回だけのご支援もミャンマーの子供達の幸せに繋がります。
- 予算 150万円(2022年5月現在)
- 保育園には寄付者の石碑が建てられます。
- その後の交流も継続していただき、子供達の成長を楽しみにしていただけます。

ご入会

会員としてJAMAHAを深く関わりながら、NPOの運営を継続的に支えてくださる個人、企業、団体様を必要としています。

- 年会費▶
- 特別会員 100,000円 / 1口
- 正会員 5,000円 / 1口
- 学生会員 1,000円 / 1口

振込先

振替口座

- (1)郵便局から
口座記号番号 / 00820-5-135506
口座名称(漢字) / 特定非営利活動法人 日本ミャンマー豊友会
口座名称(カナ) / トクヒニホンミャンマーホウユウカイ
加入者払込店 / 七宝
- (2)銀行から
店名【店番】 / O八九(ゼロハチキュウ)089
預金種目 / 当座 口座番号 / 0135506

銀行振込

- 三菱UFJ銀行 中村公園前支店(235)
普通預金 0027522
特定非営利活動法人日本ミャンマー豊友会

ゆうちょ銀行総合口座

- (1)口座記号 / 12110 番号76560361
口座名 / トクヒニホンミャンマーホウユウカイ
- (2)他銀行からの振り込み
店名 / ニー八(ニイチハチ) 店番 / 218
預金種目 / 普通預金 口座番号 / 7656036

2)2015年開校
セレー東村保育園(外装、遊具、浄水器)



3)2016年開校
ナインカーミー村保育園(床の張り替え)



4. 奨学金貸し付け及び給付型奨学金

PAOの学生への奨学金貸付を10年以上続けておりますが、今後は現状を把握したのちに給付型に転換することでミャンマーの子供たちの教育機会を大切にしたいと考えています。しかし財源が問題であることは一目瞭然です。ひとりの支給者と一人の受給者をマッチングさせ、「あしながおじさん」として永く支援して下さる仕組みにしてゆきたいと思っています。トンテ孤児院のケースをモデルとし、奨学金給付ルールを現地の教育担当者と相談しつつ、より子供たちの教育チャンスを多くするためのルールを見直してゆきます。

現況はコロナと内戦で厳しく、大学や高校も休校が続いていますので、今期は準備の時期と考えております。

5. 居住区の環境美化活動支援

ゴミ拾い活動の支援から始まったマインタック村の環境美化活動については、皆様もご存知のようにゴミ箱の設置から小型の焼成機の寄贈、試運転から二人の常雇も含めてテイクオフしたかのように見えました。ゴミの分別収集という点で村人の方々は慣れないために、様々な問題が発生し、現在では仕切り直しです。できれば村落共同体のごみ処理のモデルとして実稼動にこぎつけていきたいものだと思っております。ゴミの仕分けで問題になっているところをもう一度整理し、今年度は仮予算として12万円計上(重油代、バイト代)予定です。ただ日本から持ち込み、寄贈した焼却炉の肝心な部品が盗難にあったというニュースが入ってきました。幸い創業当初の青年が村に戻ってきたことが確認できましたので、都市のロックダウンが解けたのち、現地を訪問し、具体的に考えてゆきます。

6. 視覚障がい者支援活動

2021年はコロナ禍の中、医療従事者の方々が、果敢にコロナ患者のために治療を施していただきました心と身体のケアの為に、ウェーバーギー病院(感染症専門病院)で医療従事者へのマッサージボランティアを実施しました。

しかし2021年2月1日のクーデターにより、医療従事者、公務員等々の方の市民不服従運動が始まり、病院としての機能を失うこととなりましたので、中止しております。



訪問日	参加人数	訪問日	参加人数
2020年12月19日	14名	2021年1月12日	3名
2020年12月22日	10名	2021年1月20日	15名
2020年12月25日	5名	2021年1月27日	14名
2020年12月30日	13名	2021年2月3日	内戦の為中止
2021年1月6日	14名	合計	88名

またヤンゴンの国立チンミンダイ盲学校もほとんど休校状態であり、授業は月に1回程度のオンラインで行う程度です。例年開催をしておりましたミャンマーでの全国セミナーも2021年に続き、今期も開催は未定です。そのため現地滞在の日本人講師は一時帰国をすることになりました。

7. 職業訓練所の寄付講座について

当初予定では日本語、日本式介護講座、ミシン洋裁講座、機械機器修理講座、電気溶接講座等を日本人講師の下、必要経費を負担して開設する予定でした。

1)日本語講座はオンラインZOOM講座開始

電力事情やネット遮断により時々中断しております。6月下旬にN5の終了テストを予定しております。別のN5クラスの立ち上げを6月にも予定しており、集中講座でステップアップを予定し、9月からのN4クラスは二クラス合同で行えるよう設定しています。

2)日本式介護講座

全体が40コマ位の介護入門コースは予定している講師の方によってテキストが作られております。

3)その他

介護、洋裁もリアルでできるよう講師陣を固めていたところですが、現在のミャンマー側の状況下では、講師の皆さんの安全面等で進展は望めません。その場合はZOOMによるオンライン授業となります。



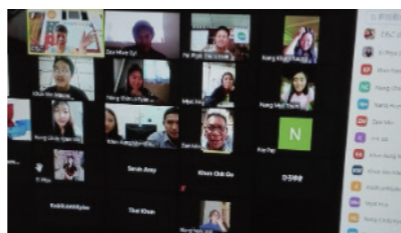
ホテルマン バットメイクの授業



ウェイトレス、ウェイターの授業

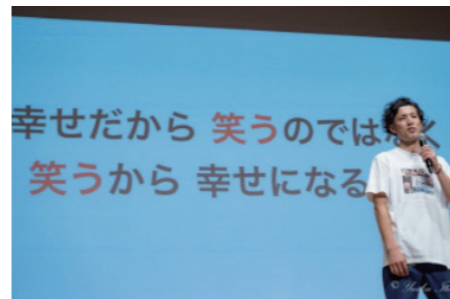


日本語のオンライン授業風景



オンライン参加者

高校生がミャンマーに学校を建てる JustSMILE プロジェクト2



はじめまして。高校生がミャンマーに学校を建てるJustSMILE学校プロジェクトにご支援いただきまして誠にありがとうございます。岡山県倉敷市に住む三谷原恒良(みたにはらつねよし)と申します。(詳細は下記URLにて)
<https://readyfor.jp/projects/-justsmile-tonycollege>

私は2020年4月にミャンマーに学校を建てる「JustSMILE学校プロジェクト」を実施しました。その活動が認められ、同年6月から岡山県浅口市にある金光学園高等学校に探究授業の講師として招かれました。

ミャンマーの教育支援のために幼稚園を整備しようと、金光学園高校(岡山県浅口市)2年生の生徒らが、建設費用を集めるクラウドファンディング(CF)に挑戦しました。

私は子どもたちの支援などに取り組む認定NPO法人日本ミャンマー豊友会(JAMAHA)の理事を務めており、昨年にクラウドファンディングでミャンマーに学校(幼稚園)を建てたことがきっかけで生徒たちも「自分たちも挑戦してみたい」と、2年生17人と共にプロジェクトチームを立ち上げました。

ミャンマー東部のシャン州にあるワータオー村に、約50人が通う建築面積130平方メートルほどの幼稚園の建設が2022年4月から始まります。

生徒たちはこれまで、現地のミャンマー人スタッフとオンラインで交流し、村人の要望を聞き取り、岡山県内のイベントに参加し協

力を呼び掛けたりしてきた。

村に住む民族の子どもたちは、通う学校がないだけでなく、母国語のミャンマー語が話せないため、たとえ学校に通っても勉強に全くついていけません。その為、経済的にも豊かになれない現状があります。

さらに、2021年2月1日よりミャンマーは未曾有のクーデターが発生し、今も生活は困難な状況です。そんな中でも村人からは幼稚園を建てて欲しいと熱望されていることに驚きました。

なぜ幼稚園なのか?それは

- 1、小学校にあがる前に母国語を覚えられること
 - 2、親たちは、子どもを預けて遠くまで働きに行けること
 - 3、村で勉強できる環境は村の過疎化に貢献できること
- 以上が実現します。

高校生たちが挑戦したクラウドファンディングが形となり、生徒たちにかなる状況下でもできることを体験を通じて伝えることができました。

高校生の時の思い出は?そう聞かれた時に彼らは胸を張って言えるはずです。「僕たち、ミャンマーに学校を建てました!」と。

私の子供の頃からの夢は学校の先生でした。しかし、会社の跡継ぎである僕にはその夢を持つことさえ出来ませんでした。

大学中退後、逃げるように海外留学を繰り返した中で、24歳の時に旅で訪れたミャンマーで、手足のない子どもたちに出会いました。過酷な状況下でも笑顔でいる子どもたちに魅了され、その衝撃は消えることはありませんでした。

なかでも衝撃的だったのが、彼らは生活費を稼ぐために物乞いをしなければならず、意

図的に手足を切断した子どもたちがいたことでした。生きるために手足を切断して物乞いをするのが「親からの教育」と聞かされたとき、「同じアジア人でもここまで違うのか?」「日本人として何かできることはないのか?」そう思い悩みました。それから16年後、JAMAHAの協力のもと、ミャンマーの東部シャン州に学校(託児所付きのプレスクール)を建てることができました。



今まで教育を受けられなかった子どもたちが、一人でも多く日本と同じように教育を受けられる社会を実現したいと願っています。探究授業を通じて、生徒たちには「当たり前にある大切さ」「日本の素晴らしさへの気付き」「挑戦することの大切さ」を会社の経営や海外の留学経験から伝えています。

夢を描き続けて16年後、ミャンマーに学校を建設することができました。その活動が金光学園高校の目に留まり、憧れだった学校の先生に就任し、今では高校生に夢を実現させるための授業を毎週行っています。

このプロジェクトを通じて、生徒たちの挑戦をご支援いただけるよう最後まで諦めずに挑戦し続けます。



《学校(幼稚園)建設予定場所》
ミャンマー シャン州 WarTaw村(ワータオー村)

- 人口512人、156世帯、対象生徒数80人
- 新型コロナウイルスの感染拡大とクーデターの影響により電気などのインフラが未整備(2021年8月時点)
- 学校の大きさは40坪程度を予定(このサイズになると、国からの支援を受けることができます)

参加者募集 11月予定 ミャンマースタディーツアー
詳細はFacebookまたは、ホームページをご覧ください。



ミャンマー豊友会 総会のご案内

日時: 6月14日(火曜日) 13時30分~(ZOOMオンラインにて開催)
ミーティングID: 815 6271 2516 / パスコード: 812376